



伊予三島ロータリークラブ



「マンゴーとレイシ」 坂田 瑞 来



2024-2025年度国際ロータリー会長
Stephanie A. Urchick (ステファニー A. アーチック)

事務局 四国中央市金生町下分789-1 四国中央商工会議所内
http://www.iyomishima-rc.jp TEL(0896) 58-3530
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX(0896) 58-6294
例 会 金曜日 12:10~13:10
■会長/佐々木弘実 ■幹事/井川 正 ■会報委員長/中野 航

No.37
令和 7.3.14
第3447回

I M 報 告

会長 佐々木 弘 実

伊予三島ロータリーの紹介

- ・伊予三島ロータリーは最年長会員 79 歳、最年少会員 35 歳、平均会員年齢 56 歳と若い会員が多く、活気のあるクラブです。暖かくてフレンドリーな雰囲気の中で、地域社会への貢献を大切にする仲間たちが集う場です。年齢や職業、経験の垣根を越え、お互いを尊重しながら楽しく活動を行っています。毎週の例会では、社会奉仕活動や地域イベントの企画・運営を行っています。時には笑いに包まれながら、時には真剣に意見を交わし、共に成長しあえる環境が整っています。

活動内容と自慢できる点：

- ・地域奉仕活動：4 年前より地元の寒川海水浴場ごみ拾いを毎年行っています。会員以外にも会員の会社の従業員の方、ご家族、高校生のボランティアほか近隣の方も参加いただいて活動を行っております。昨年は 70 名以上の方に参加いただきました。今年は 6 月に川之江クラブとの合同清掃を予定しております。
- ・国際交流：しこちゅ〜国際交流フェスタへ昨年より協賛させて頂いています。このフェスタは四国中央市で生活する外国人約 100 名と一般市民 100 名が集い交流を深めるフェスタです。ロータリーとしましてはオードブルの協賛や、スタッフとしてのメンバー派遣サポートを行っています。
- ・善行生徒表彰：市内の各中学校・高校の先生にお願いし表彰に値する生徒さんを推薦していただき毎年 9 月の例会にて表彰しています。この行事は伊予三島ロータリーで 50 年以上続く歴史ある活動です。
- ・こども食堂への補助金贈呈：この度、伊予三島ロータリーでは地域奉仕活動の一環として、こども食堂への援助金の贈呈を行いました。市内にある 6 施設の代表に集まっておいただき「地域の子どもたちへ健やかな成長を支援する」という目的で贈呈式を行いました。
- ・防災ボランティア研修会：将来発生する可能性が指摘されています大規模地震に備え毎年 3 月に講師を招いて市民の方々と研修会を行っています。

考えられる問題点：

- ・会員数の減少：少子高齢化や若年層の関心低下により、会員数の維持が課題となっています。
- ・活動資金の確保：継続的な奉仕活動を行うための資金調達が難しくなっています。
- ・活動内容のマンネリ化：新しい取り組みを模索し続けないと、活動が固定化し、地域社会からの関心が薄れる可能性があります。

『伊予三島ロータリークラブからこども食堂への援助金贈呈』

1. はじめに

この度、伊予三島ロータリークラブは地域貢献活動の一環として、こども食堂への援助金を贈呈いたします。本レポートでは、援助金贈呈の概要、贈呈式の様子、およびこども食堂の今後の活用計画について報告いたします。

2. 援助金贈呈の概要

- ・贈呈日：2025 年 2 月 26 日
- ・贈呈場所：四国中央市内 6 施設のこども食堂
- ・贈呈者：伊予三島ロータリークラブ
- ・受領者：市内こども食堂（NPO 法人）
- ・援助金額：100,000 円
- ・目的：こども食堂の運営支援（食材購入、調理設備整備、学習支援活動など）

3. 贈呈式の様子

伊予三島ロータリークラブより市内こども食堂の代表者へ『地域の子どもたちへ健やかな成長を支援する』という目的で援助金の贈呈を行いました。

こども食堂の代表者からは「この支援金を活用し、子どもたちが安心して集える場所をより良くしていきたい」との感謝の言葉が述べられました。

贈呈後には、こども食堂の活動内容の説明が行われ、実際に食事の提供が行われる様子も見学しました。参加者からは「子どもたちが笑顔で食事を楽しむ姿が印象的だった」との感想が寄せられました。

4. 援助金の活用計画

こども食堂では、今回の援助金を以下の目的で活用する予定です。

1. 食材費の確保：新鮮な野菜や肉、米などの購入
2. 調理設備の整備：老朽化した調理器具の更新
3. 学習支援活動の充実：子どもたちが勉強できる環境の整備（机・椅子の購入など）
4. イベントの開催：食育や地域交流を目的とした特別イベントの実施

5. まとめ

今回の援助金贈呈は、こども食堂の活動を支える大きな一歩となりました。伊予三島ロータリークラブとしても、今後も継続的に地域支援活動を行い、こども食堂の発展に貢献していく方針です。今後の活動報告にも注目し、より良い支援の形を模索していきます。

写真（みんなの子ども食堂）

1. 援助金贈呈の様子
2. こども食堂での食事風景
3. 活動に参加した子どもたちとスタッフの集合写真

以上、伊予三島ロータリークラブからこども食堂への援助金贈呈に関するレポートを報告いたします。



I M 報 告

幹 事 井 川 正

11：30 分より I M会長幹事、次期会長幹事の会合が行われました。まず初めに、各地区テーブルに座り各会長よりメンバー紹介とクラブ活動の特徴を発表をされました。

I Mでの今年のテーマは青少年に夢をということでした。
今回は初の愛媛第一分区と第二分区での共同開催ということでホストクラブは今治南 R Cでした。
ホストクラブ松垣会長の点鐘から始まり夏見ガバナーよりご挨拶がありまずは 335 名の参加者に感謝の意を表しておりました。特にこれからの青少年の育成とこの混沌とした時代において平和であることがいかに重要かということを強調されておりました。

あとは各クラブの活動スタイルの多様性についても話しておられました。夏見ガバナーも残り 3 か月となりましたが、各クラブの活動スタイルの共有や相互学習の促進などを進めていきたいとのことでした。以前から全国での会員クラブを増やしていかなければならない事や会員数を意識されてのご発言だったように感じております。

その後、昨年に開校した F C 今治里山校の校長 辻 正太先生から記念講演がありました。
経歴としては 1982 年生まれで奈良県出身だそうです。東京大学教育学部卒業後、埼玉県为学校法人 佐藤酒学園栄東中学校と高等学校を 1 1 年間勤務しておられたそうです。
全体的には、生徒に対してコーチングをしていくということを徹底しているということを感じました。何か生徒が問題を抱え相談しに来た時の返答として、生徒に、それでどう感じてどうしていきたいかということ徹底的に繰り返すのだそうです。そこで、抱えている問題の解決の糸口を考えさせ、また時には仲間と共有しクリアにしていくのだそうです。

その後、各ロータリークラブの活動紹介があり伊予三島ロータリークラブの子供食堂の写真とともに佐々木会長の満面の笑顔が巨大スクリーンに映し出され、活動内容の説明がありました。

夏見ガバナーも今回の初の試みであった愛媛第一分区、第二分区合同の I Mがよかったと評価しておられました。点鐘が行われ無事に I Mが終了いたしました。

I M 報 告

高 岡 淳

令和 6 年 3 月 8 日土曜日今治国際ホテルで愛媛第 1 ・ 2 分区合同のインターシティミーティングが開催されました。第 1 ・ 2 分区合同開催は初めてで、愛媛県下総勢 350 名が参加しました。テーマは“青少年に夢を！”です。最初に F C 今治高校里山校の辻正太校長先生の講演がありました。演題は“共助のコミュニティのキャプテンを育てる F C I の挑戦”です。

人生のオーナーシップを持って生きる人を増やすために必要な学びとは？
感情の交換が生まれる学びのフィールド（学びの場）に、感情の共有ができる共助のコミュニティ作りを F C 今治高校で取り組んでいるところです。
そこで学ぶことにより、一人一人がキャプテンに育ってほしいと願っているそうです。
想定外・板挟み・修羅場と向き合い、自ら決断し・乗り切る力を身につけることが目標です。机に向かってする勉強と、いろいろ実践する勉強を体験することが F C 今治高校における学びです。

超有名な講師を招いていますが、はじめの頃は講師の話聞くだけの生徒たちが、最近では、勝手に自ら名刺を作り、勝手に講師の先生方とメールでやり取りして、勝手にそれぞれが事業を育てる事まで始めるようになっているそうです。講師を通じて各自がネットワークを作って今後に生かそうとしています。

2 年生になると、八十八か所巡りをグループ分けして、それぞれのグループで予算・日程を決めて実施することも行っているそうです。八十八か所巡りを終えると、一回りも二回りも成長した姿を見ることができるようです。

校長先生話を聞いていると、日本の未来はめちゃくちゃ明るいですね。

次のフォーラムでは、第 1 第 2 分区各クラブが取り組んでいる青少年奉仕の活動紹介がありました。ほとんどのクラブで青少年奉仕の事業に取り組んでいて、ロータリークラブは素晴らしいクラブであることを実感しました。

次代をつくるのは若者たちです。その一助を担っていけば必ず未来は良くなるものと確信しました。

I M 報 告

青 木 良 臣

インターシティ ミーティング I Mの報告をさせていただきます。今治国際ホテルで 12 時半から今治南ホストクラブの 主催で行われました。「青少年に夢を」というテーマで行われました。第一分区、第 2 分区合同の I M は 初めてということです。登録人は、たしか 335 名だったとおもいます。記念講演は F C 今治高校 里山校長の辻翔太 校長先生の話でテーマは「共助のコミュニティのキャプテンを育てる F C I の挑戦」という話で F C 今治高校里山校の学校の取り組み方をいろいろ教えていただきました。公立高校にはないような 興味のある教育方針や著名人を講師に迎えた取り組み方等、大変意欲的な学校だと思いました。また、フォーラムでは 愛媛 第一 第二分区の 各クラブの青少年奉仕委員会、社会奉仕委員会 、国際奉仕委員会などの取り組み方を色々紹介していただきとても勉強になりました。今回 伊予三島 クラブからは 10 名の参加でしたが 5 年未満の会員が少なかったので、次回から地区大会、I Mの積極的な参加をお願いいたします。各クラブがどういう活動をしているのか ロータリーの知識を深める上でも大事だと思います。

第 3 4 4 7 回

例 会 記 録

令和 7 年 3 月 14 日

開会 佐々木弘実 会長

例会行事
I M報告
井川 正 幹事

出席報告

出席会員（3 1 名中） 2 3 名
出席免除会員 1 名
出席率 7 6 . 6 7 %
第 3 4 4 5 回修正出席率 9 3 . 5 5 %

ニコニコ紹介
佐々木弘実会長～
先日の I M出席された会員の皆様おつかれ様でした。本日は報告よろしく願いいたします。

会長の時間

○結婚記念日御祝

鈴木和範 御夫妻（1 3 年）

○出席表彰

外山英敏君（3 9 年）、渡邊吉和君（8 年）
鈴木和範君（ 5 年）、河本健吾君（2 年）

井川 正君～

長女が無事高校を卒業し、いよいよ 3 月中に関西方面へ進学が決まり、巣立つ事となりました。おめでたい反面、少しさびしさは残りますが、今まで以上に飲み歩けばいいかなと思っています。

結婚記念祝～鈴木和範君

幹事報告

・夏見良宏ガバナー・第 2520 地区 佐藤 剛 ガバナーより、大船渡大規模山林火災被害支援のお願い
・愛媛第一分区 藤枝 晃 ガバナー補佐より、I Mの御礼
・例会変更通知

（新居浜）

4 月 3 日（木） 新居浜南 RC との合同夜間例会
（川之江）

4 月 8 日（火） 伊予三島 RC との合同夜間例会

4 月 2 9 日（火） 休会（昭和の日）

5 月 6 日（火） 休会（振替休日）

3月28日プログラム予定

職業奉仕委員会
（定例理事会）